

(1) 育暎保育園の保育理念

地域の中の保育園として、子育て支援、子どもの最善の利益を考え、地域に愛される保育園を目指す。

(2) 育暎保育園の保育方針

いつも本物を意識し、自然体験(田、畑、土、水等)を通し、子ども達の豊かな人間性を引き出しながら、主体性のある子どもを育成する。

(3) 育暎保育園の保育目標

- 十分に養護の行き届いた環境の下、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び、情緒の安定を図ること。
 - 健康、安全などの生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
 - 人とのかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
 - 自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。
 - 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養うこと。
 - 様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うこと。
- 以上のような目標を土台に子どもたちが安心して快適に過ごせる園生活を創造していきます。

(4) 保育時間・延長保育・慣らし保育について

- 保育時間：月曜日～金曜日 8時30分～16時30分まで
土曜日 8時30分～16時30分まで
- 延長保育：月曜日～金曜日 7時～8時30分・16時30分～19時まで
土曜日 7時～8時30分・16時30分～19時まで

***19時にお迎えが間に合わない場合は必ず園に連絡の上代理の方のお迎えをお願いします。**

* 延長保育を希望された方は、園に延長保育申込書を提出して頂き、厳密に審査の上、延長保育承諾書を発行させていただきます。(申請時間は勤務時間+通勤時間、在宅勤務の場合は勤務時間+自宅からの時間となります。ご自身の準備の為に自宅に戻られたり、買い物等の時間は含まれておりません。お仕事が終わり次第お迎えをお願いします。)

尚、時間内に必ずお迎えをお願いします。

- 慣らし保育：入園当初は、児童の負担を軽減する為に、集団生活に順応できるようになるまでの期間(約1週間～2週間)は短時間保育を行います。児童の状況に応じた保育時間を設定致しますので、ご協力をお願いします。

(5) 一日の流れ

【乳児】

7:00～8:30	延長保育(希望者)
8:30～9:00	登園、受け入れ、視診 おやつ 朝の会 クラス別活動
11:00～	昼食準備
12:00～	片付け、着替え、排泄
12:30～	午睡準備、午睡
15:00～	目覚め、着替え、排泄、手洗い
15:10～	おやつ、片付け
15:50～	降園準備、帰りの会
16:00～16:30	順次降園
16:30～19:00	延長保育(希望者)

【幼児】

- 7:00～8:30 延長保育(希望者)
- 8:30～9:00 登園、受け入れ、視診
朝の会
クラス別活動
- 11:15～ 昼食準備
- 12:20～ 片付け、着替え、排泄
- 13:00～ 午睡
- 15:00～ 目覚め、着替え、排泄、手洗い
- 15:10～ おやつ、片付け
- 15:50～ 降園準備、帰りの会
- 16:00～16:30 順次降園
- 16:30～19:00 延長保育(希望者)

(6)年間主要行事(令和7年度予定)

- 4月 入園式、慣らし保育
さつまいも苗植え
- 5月 田植え、とうもろこし苗植え
- 6月 個人面談(全園児)
じゃがいも収穫
交通安全指導、運動会
- 7月 保育参加(7月～12月予定)、個人面談(全園児)*6月の続き
七夕会、プール開き
- 8月 プール遊び、とうもろこし収穫
- 9月 稲刈り、新米を食べる会(おにぎり作り)、
お楽しみ会(わかば組)
- 10月 さつまいも芋掘り会、柿とり
ハロウィンパーティー、いくえい祭り
- 11月 焼きいも会
- 12月 生活発表会(幼児)、クリスマス会
もちつき会、
1月 聖護院大根収穫、こま回し大会(幼児)
- 2月 節分会(豆まき)卒園遠足(5歳)
芝滑り(幼児)
- 3月 ひな祭り会、お別れ会(5歳児を送る会)
卒園式



定期的行事

- 毎月行うもの:誕生会、避難訓練、身体測定、
- 内科健診(全園児):年2回(6月、11月)
- 歯科健診、尿検査:年2回(全園児)
- 不審者侵入時の訓練(年2回)、水災害訓練(年1回)

保護者会主催行事(令和6年度実績)

- 保護者会総会(中止) □いくえい祭り
- お楽しみ会(5歳児保護者)

(7)休園について

- 日曜、祝祭日、年末年始(12月29日から1月3日)
- 休園を必要とする場合(伝染病、天災等)

(8)給食・お弁当について

- ① 献立表が月末に配信されます。
- ② 全園児、完全給食(主食、副食、間食)
- ③ 土曜日も同様です。

主食費代月額900円、副食費6,800円、合計7,700円がかかります。(キャッシュレスになります。)

- * 幼児組は箸、スプーン、フォークの3点セットを持たせて下さい。(コップ、お箸セットは毎日洗い、清潔なものを持たせて下さい。)

◎お弁当の日(幼児は月に1回程度、遠足に出かけます。)

毎月の園便り等でお知らせしますので、月初めに確認して下さい。

持ち物は、お弁当、箸セット、おしぼり、シート(一人用)、水筒、着替え一式

- * リュックに入るサイズで使いやすいものをご用意下さい。
- * お弁当は食べきれぬ量を入れて下さい。

(9)登降園について

園児の登降園において、いろいろ守って頂きたいことがあります。全園児の安全と保育活動がスムーズにいくために、保護者の皆様のご協力をお願い致します。

- 本園はセキュリティ強化の為、登降園の際は**必ずセコムカードとネームプレートを着用して下さい。**
- 登降園は必ず、保護者が責任を持って、保育室までの送り迎えをして下さい。園児だけの登園は禁止です。
- 迎えのとき、**代理の場合は必ず前もって保護者が保育園に連絡してください。連絡がない場合は園児をお渡しすることはできません。*送迎をされる方は高校生以上となります。**

- 登降園の時は必ず、保育室又は1階テラスまで来て保育士に声をかけて下さい。
 - ・ 登園は9時までをお願いします。(＊9時を過ぎる場合は必ずご連絡ください。)
 - ・ 降園は(保育短時間利用者:16時30分まで)(標準保育利用者:お仕事が終了次第お迎えとなります)
***送迎時は必ず、ネームプレートを着用して下さい。**

- 担任への伝達はお子様を通してではなく、必ず保護者の方がお伝え下さい。

●お仕事がお休みの時は家庭保育にご協力下さい。

●連絡先を明確にするようお願いいたします。

・緊急時に連絡が取れるよう、通常の連絡先が異なる時は必ず担任に伝え明確にしておきましょう。

□延長保育をご利用になられる保護者の皆様へ

a 保育標準時間の延長保育利用料（18：00から19：00）（P1（4）参照。）

① 18：00～19：00 30分 200円

b 保育短時間の延長保育利用料

① 7：00～8：30 30分 200円

② 16：30～19：00 30分 200円

c 超過分の利用料(19時以降のお迎えになった場合)

1分50円

超過分利用料の算出の仕方

保育士の時給の平均(超過勤務手当含む)÷1H(60分)×保育士(2名分の人件費)

尚、天災の時(3.11のような地震や台風の場合等)は上記の限りではありません。

*個人的な理由、道路状況、電車のダイヤ等で遅れる場合は、事前に代理の方のお迎えをお願いします。

*公共交通機関をご利用方で人身事故、機器の故障等で遅れる場合は、駅にて遅延証明書を発行していただき園に提出して頂ければ、時間超過分は徴収いたしませんので宜しくお願い致します。

(10)病気について

- ① 持病のある園児はあらかじめ、入園時にご連絡下さい。
- ② 病気欠席の場合は、病名、お子さんの状態を電話にてご連絡ください。
- ③ 伝染病の場合は全快まで休ませ医師に登園届、意見書をもらってから登園させて下さい。

(意見書、登園届は園にごさいます。*HP からダウンロードする事もできます。)

■医師が意見書を記入することが考えられる感染症

感染症名	感染しやすい期間 (※)	登園のめやす
麻疹 (はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	症状が有る期間 (発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること
新型コロナウイルス感染症発	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること
風しん	発しん出現の7日前から7日後くらい	発しんが消失していること
水痘 (水ぼうそう)	発しん出現1～2日前から痂か皮 (かさぶた) 形成まで	すべての発しんが痂か皮 (かさぶた) 化していること
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺 じかせん腫脹 ちょう 後4日	耳下腺、顎下腺 せん、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳せき 出現後3週間を経過するまで	特有の咳せきが消失していること 又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	—	医師により感染のおそれがないと認められていること。(無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄せつ 習慣が確立している5歳以上の小児については)

		出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。）
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（－）としている。

■医師の診断を受け、保護者が**登園届**を記入することが考えられる感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	溶抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳せき が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱 ほう ・ 潰瘍 かいよう が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱 ほう ・ 潰瘍 かいよう の影響がなく、普段の食事がとれる こと本人が元気であれば出席停止の必要はないが、医師の判断をおおぐようにする。
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれる
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱形成している間	すべての発しんが痂か皮（かさぶた）化していること
突発性発疹	解熱し機嫌がよく全身状態が良くなるまで。	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（－）としている。

- ④ 園で急病になった場合は、直ちに保護者に連絡しますので、至急お迎えの対応をお願いします。
- ⑤ お迎えの連絡は、災害時個票の連絡先第1→第2→第3の順にご連絡致します。お迎えが無理な場合は、保護者の方自身でお迎えの手配をお願いします。
- ⑥ 朝の様子で保育士が異常を認めた時は休んで頂くこともあります。
- ⑦ 熱性痙攣等で座薬を挿入する場合は、医師の診断書が必要です。
- ⑧ 予防接種は体調を見ながら計画的に受けましょう。接種後のお預かりは経過観察と個別の配慮を必要としますので、午後の接種をお勧めします。
- ⑨ 薬について

- ・**基本はご家庭で投与。**可能な限り一日2回（朝、夕）の処方をお願いします。
- ・どうしても必要な場合

- (1) 市販薬のお預かりはできません。
- (2) 必ず医師から処方された薬（その病気の時に処方されたもの）をお持ちください。
- (3) 持参する場合

透明マジックチャック袋に、お薬カードと一回分の薬を入れて下さい。

お薬、袋は必ず記名し、職員に手渡して下さい。

(11) 服装・持ち物について

◆全園児私服です。（着替えを園に置いておきます。全ての衣類にはつきり記名。）

○洋服は上下別々で。つなぎや、自分で脱ぎ着のしにくいものはご遠慮下さい。

○スカートやフード付きの服、チュニックやフリル付きの服は遊具にひっかかるなどの危険性と衛生上好ましくない（直接地面に肌着がいたり、おむつがついたりなど）のでひかえて下さい。

○外遊び用の靴、上履きは基本的には毎週金曜日に持ち帰りますが、汚れたら、その都度持ち帰ります。

*土曜日保育利用の際は土曜日に持ち帰り。

○持ち物全てに記名をお願い致します。

□持ち物（0歳～5歳）毎日もってくるもの・園に保管しておくもの

	品名	0歳 はな	1歳 そら	2歳 つき	3歳 にじ	4歳 たいよう	5歳 わかば	備考
1	連絡帳（乳児）	1	1	1	×	×	×	名前、検温を忘れずに記入。
2	手ふきタオル	1 (後半から)	1	1	1	1	1	タオル角に環を付けて下さい。
3	おはしセット	×	×	1 (後半から)	1	1	1	幼児は毎日カバンに入れて持参
4	コップ・コップ袋	1	1	1	1	1	1	毎日持ち帰る。(幼児のみ) *乳児は金曜日に持ち帰り。 *コップ裏の滑り止めは外して下さい。
5	歯ブラシ	×	×	×	×	×	1	(1月から)
6	水筒	×	×	×	1	1	1	直飲みタイプの物
7	洋服上下・靴下・肌着・ パンツ	4	4	4	3	3	3	大きく記名。
8	着替え袋	×	×	1 (後半から)	1	1	1	布製の巾着・乳児は引き出しに入れます。大きく記名。
9	ママバック	1	1	1	1	1	1	汚れた洋服等を入れます。
10	カラー帽子	赤 1	水色 1	黄色 1	ピンク 1	オレンジ 1	黄緑 1	金曜日に持ち帰る。 カラー帽子は園で購入可。 *内側が『白』の物
11	午睡用布団 (持参又はリース)	1組	1組	1組	×	×	×	カバーを付ける。持参の方は金曜日に持ち帰り（布団持ち帰り時の袋は毎回持ち帰り。）
12	午睡用品（幼児）	×	×	×	1組	1組	1組	幼児組（3歳児から5歳児）は、園のお昼寝ベッドを使用します。
13	上履き・上履き袋	×	×	1 (後半から)	1	1	1	金曜日に持ち帰る。 *マジックテープ式は不可
14	通園用カバン	×	×	1 (後半から)	1	1	1	
15	マスク	×	×	×	1	1	1	予備として必ず通園バッグに用意。
16	外遊び用靴、外靴用袋	1	1	1	1	1	1	毎週金曜日に持ち帰る。 光る靴、鳴る靴は×
17	調理用エプロン、三角巾 エプロン袋、マスク（使 い捨て）	×	×	1 (後半から)	1	1	1	
18	野菜バック	1	1	1	1	1	1	園で収穫した野菜を持ち帰ります。 *ナイロン製が良いと思います。
19	紙オムツ (持参の方のみ)	8	8	8	×	×	×	お尻部分に記名 朝履いてきたオムツにも記名
20	おしりナップ+フタ (持参の方のみ)	1	1	1	×	×	×	おしりナップ予備1個（持参の方のみ）

全ての持ち物に大きく見えやすく記名をお願いします。

*袋などの準備詳細は別紙を参照して下さい。（最終ページ別紙参照）

(12) 午睡用品について

■乳児ひるね布団について（持参とリースが選べます。リース詳細は別紙）

○敷布団と掛け布団が必要です。（リースの方は掛布団とシーツのみ）

- ・ 掛布団 105cm×120cm程度

- ・敷布団 90cm×130cm程度

*上記サイズは目安です。但し、大き過ぎるものはさけて下さい。(並べて布団を敷きますので)

○掛布団は季節に合わせて調節して下さい。(毛布→タオルケットなど)

○毎週金曜(土曜保育利用の方は土曜日に持ち帰ります。)に持ち帰り、干したりカバーを洗濯したりして下さい。(汚れたときはその都度持ち帰ります。)

(*リースの方は掛布団とシーツのみ持ち帰りとなります。)

*布団カバー、中身の布団に大きく記名して下さい。

■ 幼児用おひるねベッド ⇨



←シーツはバスタオルや敷パットを使用。
毎週(金)消毒して下さい。

(お昼寝用ベッドのシーツの仕様)

幼児組(3歳から5歳)は、園のおひるねベッドを使用しますので、バスタオル掛用、敷用(各1枚)*冬場は子ども用毛布をご用意下さい。

- ・指定は130cm×55cm
- ・四隅を15cm折り曲げて縫う。
- ・四隅の角にゴムをつける。

ゴムは(長さ25~30cm位が目安 1.5cm~2.5cm幅)ベッド本体は52cm×129cmです。

(13) 園への連絡のしかた

☎ 欠席の連絡のしかた

当日の連絡は8:45までにコドモンに入れて下さい。

*8:45以降の連絡や病欠の場合は電話で直接お願いします。(症状の確認の為)

8:45以降の送信は翌日の確認になります。

***お仕事がお休みの日は、原則家庭保育になります。**

(14) 園からの連絡

- 各クラスの様子やお知らせ等は毎日コドモンで配信します。
- 全体へのお知らせや感染症の連絡等は職員室横の掲示板やホワイトボードをご覧ください。
- 園便り、クラス便り、献立予定表、保健ニュース、安全ニュース、たのしくたべようニュースは毎月、月末にコドモンにアップします。
- 連絡事項などは必要に応じて印刷物や一斉配信(メールやコドモン)で連絡します。
*ウォールポケットに配布物が入っていることがありますので毎日チェックして下さい。
- 緊急の場合はモバイルを活用したメール配信を行います。(登録が必要です。)

(15) 退園・住所変更・勤務変更の連絡等

- ①年度の途中で退園する場合は、市役所「保育幼稚園課」と園長に連絡し、保育解除の申出書を提出して下さい。
- ②保護者の職場、勤務時間、住所、家族構成、電話番号等が変わった場合は住所等の変更届書(勤務先関係の変更は就労証明も一緒に)を提出し必ず担任に伝えて下さい。
- ③健康保険証が変わった場合は、すぐに新しいものを園に提出して下さい。

(16) 清潔・保健衛生

集団生活では、一人一人の清潔な状態が大切です。

たとえば爪が伸びていると不潔になるばかりではなく友だちにひっかき傷をつくることもあります。

登園するときには、身体、髪の毛、衣類はいつも清潔にし、爪は一週間に一度必ず切っておいて下さい。足の爪も忘れず

に、また、耳も時々お掃除しましょう。

体調不良が感じられる際は無理して登園せず休ませるようお願い致します。

口や手はきれいにしてから登園しましょう。(アレルギーのお子様もいらっしゃいますのでご配慮をお願いします。)

(17) 健康な園生活のために

新入園児のお子さんは、入園するとそれまでと全く違った環境で生活することになります。進級児でも環境が変わると早く適応できる子もいれば、なかなか慣れない子もいるのです。その子のペースをいちばんわかって下さっている保護者の方に次のようなことに、ご配慮いただいて、お子さんの健康な園生活をサポートして頂きたいと思えます。

① 毎朝の体調チェックと病後の登園

毎朝、お子さんの具合に気を配り、体調が悪いときは早めに休ませるように心がけて下さい。また、病後はしっかり回復してから登園しないと再発する事が多いようです。十分休ませてから登園するようにして下さい。

① 朝食は必ずお家で食べてきましょう。

子どもにとって朝食を抜くということは、とてもつらいことです。活動意欲や集中力がなくなり、友だちがイキイキと活動していても、ついていくことができません。子どもの活動がもっとも盛んなになる午前中に元気でいられるように、朝食は必ずバランスよく食べて登園して下さい。

車で食べたり、口に食べ物が入ったままの登園はやめましょう。

③ 朝、保育園に行きたがらないとき

ふだん泣かない子がぐずったりしている時は、熱の出始めや体調が悪いときもあります。

熱を計ったりして注意して見てあげて下さい。

体調が良くてもぐずるのは、たいてい、お家の人と離れたくなかったり、お父さんが休日だったり、叱られたりしたときなどです。前の日に友だちとトラブルがあったときも行きたくなくなる場合があります。

病気でないときは、「さあ、頑張っていってらっしゃい！」と明るく励まして保育園へ送り出して下さい。

④ 十分な睡眠と登園時間

できるだけ早めに床に入り、たっぷり睡眠をとり、朝の登園が遅くならないように心がけましょう。

とくに幼児組は早めに登園して頂けると、活動にスムーズに参加できます。

⑤ 保育園から帰ったら親子で過ごす時間を大切にしましょう。

子どもは、保育園では自分と同じ年齢の集団の中で、緊張感や子ども同士のぶつかり合いで心身ともにエネルギーを使っています。それが、子どもなりの社会学習の経験なのです。その分お家ではたっぷり甘えたり充電することが必要です。

甘えるといっても、何でもいうことを聞いてあげたり、おかしやおもちゃなどをふんだんに与えるといった物質的な欲求をみたすような方向は避けるべきです。

それでは心の満足は得られないどころか、逆効果です。

大切なのはスキンシップやお子さんの話をきちんと正面を向いて聞いてあげること、一緒に遊んだり栄養たっぷりなおいしい食事を用意しておくのもいいですね。十分な心と身体の充電をして次の日も元気に登園しましょう。

(18) 持ってきてはいけないもの

自宅で遊ぶおもちゃ、カード類は、園に持ってこないようお願いします。

入園当初、「これがないと落ち着かない(例えば、ぬいぐるみやタオル等)」時などはその旨ご連絡下されば柔軟に対応します。また、園では遊具、玩具を使っています。細かい物もあり、まだ自分の物と人の物の区

別がつかない、公共のものという意識がない年齢の子どももいますので、ポケットに入れて持って帰りたいときもあります。遊んでいるうちに入ってしまうこともあります。いずれにせよ見慣れないおもちゃなどを持って帰りましたら、「人の物、園の物をとってきた」と驚いたりせず、その時は良い学習させる良い機会ですから叱らずにきちんと話をし、園までご連絡ください。

(19) 友達同士のトラブル

友達同士の喧嘩で怪我をする場合もあります。喧嘩も人間関係において必要な経験ですから、私達は怪我をしない程度に見守るようにします。しかし職員の知らないところで怪我をした場合、たとえば止めるまもなくあつという間にかみついてしまった場合(年齢が低いほど良くあります)は、残念ながら痛い思いをさせてしまいます。

そんなときは、両方の保護者にその旨連絡いたします。怪我をさせたほうの保護者の方はひとことお詫びの連絡を相手の方に入れていただくと良いと思います。とくに元気の良い男の子の場合はお互い様です。子ども同士のトラブルは、しこりなど残さずあつというまに、修復するものですが、大人がこじれるとなかなか修復が難しくなります。お互いに人間関係を円滑にするための”ひとこと”が大切です。

ただ、怪我がすぐに消えてしまうような軽い場合は、両方に逐一連絡しません。なぜなら、元気な子ども同士での喧嘩は健全な発達のあらわれであり、成長と共に腕力でなく言葉で解決できるようになるからです。逐一お知らせすることで親がナーバスになるより、園内で解決させた方がよい場合もあるからです。その判断は園にお任せ下さい。

友だちを傷つけた場合、家に帰って叱る？

「頭ごなしに叱るべきではありません」園で起きた事柄は、園ですでに先生によって叱られたり、理由を聞いたり、謝ったりしてその場で決着しています。そのことを蒸し返してわざわざ叱る必要はありません。

ただ、何も言わないより「どうしてしちゃったのかな？」とやんわり聞いてお子さんの主張を聞き「ちょっと失敗しちゃったんだ、こんどは気をつけようね」同意しながら話をすることは必要だと思います。また、万が一職員が気づかないところでのトラブルがあったら、園までご連絡下さるようお願い致します。

「いじめられた」という言い方を子どもの間でもよく聞きます。

しかし、よくよく聞くと「物を取ろうとして押された」「ブランコの順番をかわってくれなかった」

など自分の都合の悪いこと、主張が通らなかったことを「いじめられた」という言葉で伝えてしまうこともあるようです。

そんな時は「どうしたの？」と具体的に聞いてあげて、「おされて嫌だったのね」「○○くんと同じブロックが欲しかったのね」など具体的な言葉に言い直してあげます。「いじめ」という悪意を持って行動したのではない場合は、「いじめ」ということばに敏感になるのはお子さんに必要以上に人への不信感をもたせかねませんので、気をつけたいものです。もちろん、ケンカやトラブルがいじめのきっかけにならないように気をつける必要があります。お子さんの話で気になるところがあったときは、遠慮なく園までご相談下さい。

(20) 園からのお願い

● 伝染性の疾患が発生したとき

・職員室横のホワイトボード等でお知らせしています。必ず確認下さい。

● 子どもの様子がいつもと違う時

・健康観察上、嘔吐、下痢、元気がなく健康状態が思わしくないとき、あるいは、伝染性の病気を疑う等のときは迎えにきていただきます。発熱の場合、基本38.0℃を目安に、平熱や前後の状態、計り直しなどの上判断します。熱がなくても状態によってはお迎えになる場合があります。ご協力をお願い致します。

・朝から37.5℃以上の発熱がある場合24時間以内に38.0℃以上の熱が出た場合、または解熱剤を使用していた場合は登園を控えて下さい。

・嘔吐で汚れた衣類等については、消毒液につけて返却となります。

色落ちする場合がありますが、ご了承下さい。

・便汚れについては保育士の大腸菌感染予防のため、基本洗わずにビニール袋に入れて、エレベーター横の外バケツに入れておきますので、忘れずにお持ち帰り下さい。

(担任が判断してすすいだ場合はママバックに入れてお返しします。)

・血液汚れについては保育士の B 型肝炎、C 型肝炎、HIV 感染予防の為、水洗いはせず次亜水を吹き付け又は漬け込み、ママバックに入れてお返します。

* 上記汚れた衣装等の持ち帰り忘れた場合、取りに来て頂くか、処分させて頂くこともございます。

●万が一、ケガをした時

・家でケガをしたときは、手当てをしてから登園しましょう。そして、その事を担任までお知らせ下さい。保育園で活発に遊ぶと、どうしてもケガは避けて通れません。すり傷などの小さいケガは大いに結構、痛い思いをするからこそ、「次は気をつけよう」と発達していくものです。**すり傷、切り傷、打ち身等軽傷の場合は園で処置します。**

・園で病院に行くようなケガをした時は、その状況を連絡します。状況によっては病院に付き添って頂くよう、お願いすることもあります。ご協力をお願いします。

その後の通院はできるだけお家の方と行っていただきたいのですが、仕事等で時間がとれない場合は園で通院の代行を致しますのでご相談下さい。

・提出して頂いた、保険証コピー、及び子ども医療のコピーは、上記のように、受診が必要な時に使用させていただきます。

* 国民健康保険の書き替えは10月1日です。新しい保険証に変わりましたら、新たに保険証の写しを提出して下さい。

【保護者に負担していただくもの詳細】（令和7年度）

幼児（3．4．5歳）：（主食代・副食代）-月額 7,700円・バス維持費 月額500円

【個人持ち教材について】教材等費用一覧表（令和7年金額）

教材等費用一覧表

（表1）

項目	徴収対象	徴収時期	金額の目安(税込み)
カラー帽子(たれ無し) クラスカラー	希望者	随時	820円
カラー帽子(たれ有り) クラスカラー	希望者(幼児のみ)	随時	1330円
セコムカード (必要枚数購入可)	新入園児他	入園時・随時	1250円
お便り帳表紙	希望者 新入園児(乳児) (本年度は現はな・そら組も)	新年度教材注文時	527円
教材用本	5歳児		460円
お誕生カード (ハードカバー・角R・ミッキー/音楽)	全園児		270円
はさみ	幼児組		540円
のり	幼児組		170円
粘土	幼児組		400円
粘土板	幼児組		760円
粘土べら	幼児組		300円
粘土ケース	幼児組		480円
パステル(16色)	幼児組		660円
お道具箱	幼児組		1230円
自由画帳	幼児組		330円
なわとび	幼児組		720円
えのぐ	幼児組		1210円
鍵盤ハーモニカ(ホース・吹き口)	4歳児希望者	4月頃	実費
製作教材費 (折り紙・画用紙等)	0・1歳児		2588円
製作教材費 (折り紙・画用紙等)	2歳児		2588円
製作教材費(折り紙・画用紙等)	3歳児・4歳児		2888円
製作教材費 (折り紙・画用紙・卒園製作含)	5歳児		3705円
手口ふき	0.1.2歳児	使用終了月まで	月額210円
紙オムツ処分代	使用児	使用終了月まで	月額300円
食食用エプロン(4枚分)	0・1歳児	年額	2640円
食食用エプロン(3枚分)	2歳児	7か月分	1980円
食食用エプロン消毒代	0.1.2歳児	使用終了月まで	月額150円

* 製作教材費以外のものについては年度によって変動することがあります。

* 幼児カラー帽子はたれ有り、たれ無しのどちらかを選択して下さい。

（表2）

サブスク商品利用料金表		
		金額(毎月)
オムツの定額制	乳児オムツ利用者	2,290円(税込)
午睡布団(敷布団のみ)	希望者	572円(税込)
敷布団用カバー(1枚)	希望者	880円(税込)

* 育暎保育園から購入してもらう物は毎年、幼児のみの物については、幼児組に進級した時に購入して頂くものです。現年度のにじ組、たいよう組は必要な物のみを購入して頂ければ結構です。カラー帽子についてはご自身で購入されても構いません。

* ネームプレートは1枚100円です。

* セコムカードは1枚1,250円です。

□ 各種申請書のダウンロードについて

HP、トップページ保護者専用のページ「各種申請書」から以下でのものがダウンロードできます。

* ユーザー名、パスワードの入力は必要ありません。

- ① 登園届、意見書
- ② お薬カード

(21) 家庭にお願いすること

(1) 登園までに

- ① 子どもが目覚めてから、一緒に家をでるまで1時間位見て下さい。
- ② 洗顔、排泄、着替えをきちんとさせて下さい。
- ③ 朝食は栄養のバランスを考えてきちんと食べさせて下さい。
- ④ 叱ったり、叩いたり、早く早くとせかささないで下さい。

(2) 家に帰ってから

- ① 忙しくなるとお子様が好む食事に偏りがちですが、食事はなるべくバランスを考えて用意して頂ければと思います。
- ② 一緒に食事をする、お風呂に入る、寝かしつけ時に絵本を読むなど、忙しい毎日だからこそ、一緒に過ごす時間を大切にしましょう。
- ③ 夜、寝る時間は、挨拶、手洗い、歯磨き又はうがいなどの習慣をつけましょう。一人でできるように応援してあげて下さい。
- ④ 翌日の準備は、お子様と一緒に夜のうちに済ます習慣をつけましょう。

(3) 休みの日は

- ① 子どものペースでゆったりと一緒に過ごし、休日を楽しみましょう。生活リズムに気を配ってあげて下さい。